

2023年11月21日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾「ガクモンノススメ」プロジェクト 第3回動画 ビリギャルが語る『学問のすゝめ』11月21日（火）配信開始

2022年、福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行してから150年の節目でスタートした本プロジェクト。昨年11月から今年3月にかけて公開した第2回までの動画に引き続き、動画コンテンツ第3回となる今回は「ビリギャルと『学問のすゝめ』」。11月21日（火）に公開しました。慶應義塾大学を卒業し、現在コロンビア大学に通われている“ビリギャル”こと小林さやかさんと慶應義塾長 伊藤公平が受験や留学へのチャレンジについて対談します。



11月21日（火）より特設サイト (<https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150/>) と慶應義塾 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/user/keiouniversity/videos>) にて公開いたします。ぜひご覧ください！



小説や映画にもなった『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』のモデルになった“ビリギャル”こと小林さやかさんがご登壇。また、現在はコロンビア大学教育大学院に進学し、海外でもご活躍されています。そんな彼女はどのような心構えでこれまでの人生を歩んできたのか。『学問のすゝめ』と紐づけながら本音トークを展開します。受験や留学に悩んでいる方はもちろんのこと、あらゆる分野でチャレンジをしようとしている方の背中を押してくれる内容です。

■出演者情報

- ・伊藤公平（慶應義塾長）
- ・小林さやかさん

慶應義塾大学総合政策学部卒業

コンフォートゾーンを抜け出す決意をし、猛勉強の末、コロンビア大学教育大学院修士課程に在籍中
新著『ビリギャルが、またビリになった日ー勉強が大嫌いだった私が、34歳で米国名門大学院に行く
までー』

- ・巽孝之（慶應義塾ニューヨーク学院長）

■福澤諭吉の『学問のすゝめ』と慶應義塾

1858（安政 5）年、大坂で緒方洪庵のもと蘭学を修めた福澤諭吉は、国許の中津藩の命を受け、江戸の築地鉄砲洲に蘭学塾を開きました。これが慶應義塾の発祥です。幕末から明治という激動の時代に、幕府使節団の一員として三度の海外への渡航の機会を得て、欧米諸国を訪れ、帰国後はその見聞を著すとともに、旧習にとらわれない教育を実践しました。1868（慶應 4）年、塾舎を芝に移転し、時の元号にちなみ「慶應義塾」と命名。1871（明治 4）年には三田に移り、現在につながる礎を構築しました。三田に移転した翌年に刊行した『学問のすゝめ』では、自由・平等の尊さと学問の重要性を説き、広く社会に受け入れられました。その福澤の精神は、一身の独立を論じ、一国の独立を念じ、志操はあくまでこれを高く堅持する「独立自尊」の精神にほかなりません。その建学の精神は慶應義塾にいまも脈々と受け継がれています。

『学問のすゝめ』

1872（明治 5）年に福澤諭吉と小幡篤次郎により初編が刊行され、1876（明治 9）年にかけて 17 編の分冊として世に出た後、1880（明治 13）年に合本とし、1冊の本として出版されました。『学問のすゝめ』には人間が生きていく上で備えるべき根本的な姿勢が説かれています。

■「ガクモンノススメ」プロジェクトとは？

昨年の 2022 年、福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行してからちょうど 150 年が経ちました。当時の『学問のすゝめ』に書かれた福澤諭吉の考えは 150 年経った今でも色あせることなく、未来の予測が難しい現代を生きる私たちの羅針盤となっています。ぜひ、これからの未来を切り開いていく若者などに向けて、現代にも通用する示唆に富んだ『学問のすゝめ』を読んでいただく機会を提供したいとの思いから発足しました。昨年 11 月に特設サイトを公開。第 1 弾として、慶應義塾長 伊藤公平と卒業生の櫻井翔さんとのスペシャル対談動画コンテンツ「現代を生きる私たちと『学問のすゝめ』」を配信。また、今年 3 月には松岡修造さんをはじめ、5 名の慶應義塾出身アスリートが「やりぬく力（GRIT）」について語った「スポーツと『学問のすゝめ』」を配信しました。

■「ガクモンノススメ」特設サイト

<https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部、文化部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田・望月）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>